

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391 FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1

ダイキン工業(株) 油機事業部企画部

TEL. 06 (6349) 0241 FAX. 06 (6349) 9865

2023年 年始会を開催

2023年の新年を迎え、当会恒例の年始の会を1月11日（水）午後3時から東京プリンスホテルにおいて開催いたしました。

当日は、会長以下会員各社より111名が、また、御来賓として経済産業省製造産業局の藤本審議官、学会から多数の先生方、プレス関係者等ご来賓の方々を含め総勢153名の皆様方の出席のもとフルードパワー業界の新年の門出を祝いました。

定刻に事務局より「これより一般社団法人日本フルードパワー工業会の2023年の年始の会を開催いたします」との発言があり、梶本会長から新年の挨拶に続いて、ご来賓の経済産業省藤本大臣官房審議官より祝辞をいただきました。



(梶本会長 挨拶)

主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

2023 年年始会を開催・・・・・・・・・・・・・1

委員会開催・活動状況

標準化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

技術調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

広報・PR 事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

今後の主要行事日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

(一社) 日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>

会長挨拶は以下の通りです。

「新年あけましておめでとうございます。ただいまご紹介いただきました会長の梶本です。本日は大変お忙しい中、年始会に足をお運びいただきまして誠にありがとうございます。令和5年2023年年始会を開催するに当たり一言ご挨拶を申し上げます。

今年は正月三が日から天候に恵まれまして暖かな日が続きました。そして今日も東京は晴れまして暖かい中、皆様をお迎えすることが出来て大変嬉しく思っております。

さて、昨年12月14日に日銀より短観が発表されました。大企業製造業の業況判断DIがプラス7ポイントということで前回9月の調査から1ポイントの悪化となってしまいました。緩やかではありますが4四半期連続の低下となりました。これはアメリカの急速な金融引き締めが発端ではないかと考えております。それによりましてアメリカの市況や半導体市場に減速感が出てきたため欧米経済を中心に景気後退懸念が高まり更には中国の不動産市況の悪化そしてゼロコロナ政策の混乱などが経済を下押ししている影響であると思っております。振り返りますと数年前までは世界経済は一層グローバル化が進むだろうということで我々企業はその環境下での物流を考え最適地生産をどう模索していくのかという視点で活動をして参りました。しかしながら約4年前に関税引き上げから始まりました米中貿易摩擦は半導体や5Gなどの通信分野に代表されますハイテク分野での輸出規制にまで発展し更には価値観を共有する国々を巻き込んだ展開となってきています。経済安全保障という考え方が生まれ我々もこの当たりを十分認識して事業を行っていくことが肝要になってきていると思っております。加えまして約2年前に突発しましたロシアのウクライナ侵攻によりましてエネルギーや各種部材の品薄や価格高騰に我々は悩まされており受注があっても物を作れないといったかつて経験したことが無いような状況になっております。それが我々の企業経営に大きな影響が出ていると考えております。このようにエネルギーや各種部材の品薄、価格高騰に加え世界的に貿易管理の考え方が変わっていく中CO2削減に向けたカーボンニュートラル実現への社会的要求が強まっております。

そんな中、当業界の昨年の状況でございますが油圧機器の売上高は対前年比1%増の4千億円、空気圧機器の売上高は対前年比9%増の6千億円となりそうでございます。今年は先程からお話しさせてい

ただいておりますように内外の様々な動きが激しくなり一層難しい舵取りが求められる年になりそうです。我々は否が応でもこれら課題に対処していかななくてはなりません。工業会といたしましてはこれら課題に取り組んでいくため一昨年、IoT推進部会を発足させ勉強していく体制を作りました。特にカーボンニュートラルの実現に向けた活動といたしましてはフルードパワーシステム学会の協力を得まして関連技術開発のサポートをお願いする体制作りをし更にISO規格のJIS化の動向や温室効果ガスプロトコル等の規制規格の情報収集の提供を進めていきたいと考えております。

話は変わりますが今年は兎年、兎は跳ねる特徴があるため卯年は景気が上向いたり回復すると言われております。昨年は国内外で数多くの出来事がございました。しかし最後にはサッカーのワールドカップで日本がこれまで勝てなかったドイツやスペインに勝利し決勝トーナメントに進出することが出来ました。これらは本当に明るい話題ではなかったでしょうか。このような明るさを今年も引き継ぎまして業績も飛び跳ねていければいいと思う次第でございます。

最後になりますがここにご来席のご来賓また会員各社様のご発展ご健勝を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。」

藤本審議官からの祝辞は以下の通りです。

「皆様新年あけましておめでとうございます。ご紹介にあずかりました経済産業省経済産業局担当審議官の藤本でございます。本年もよろしくお願いいたします。まずは本日、日本フルードパワー工業会の年始会にお招きいただきましてありがとうございます。本年はこのような形で実際に皆様にお集まりいただく形で年始会が開催されたことをお慶び申し上げます。

昨年は思い返すとコロナ禍から徐々に経済活動が戻って来る中、2月にはロシアによるウクライナ軍事進攻がございました。これによって先程会長からもありました通り世界的な物価高資源高そしてエネルギーの価格もどんどん上がり大変しんどい思いを皆様されたことと思います。特に製造業におかれましては半導体を始めとする部素材の調達が十分に出来ないとか或いは何を作ろうにも価格がものすごく上がってしまうというようなことが今でも続いていると認識しております。経済産業省といたしましてはこうした目の前の情勢変化への対応をまずは確り取りたいと考えております。加えまして今まさに新

しい産業の変革の波が押し寄せて来ています。経済産業省としましては3つを軸に産業の変革を進めていきたいと考えております。1つ目がGXグリーントランスフォーメーション、2つ目がDXデジタルトランスフォーメーション、3つ目が会長からもありましたが経済安全保障であります。どのチャレンジも大変難しいチャレンジではあるんですけれども同時にその製造業が成長するチャンスでもあると我々は捉えております。皆様と連携を密にしつつ日本の製造業の強化に取り組んでいきたいと考えている次第です。

さて皆様の油空圧機器が果たす役割は極めて大きくなっていると認識しております。航空機、自動車、建設機械、工作機械などこうしたある意味日本が十分に競争力を持っている機械の基礎となるものが油空圧機器だと信じております。機器の省エネですとかIoT推進部会を通じたデジタル化への対応といったような取り組みをこれまで以上に推し進めていただくことで我が国の社会産業全体のGXやDXを進めていただくということを期待させていただいております。経済産業省といたしましても様々な支援策を通じまして皆様のチャレンジングな取り組みを是非フルサポートさせていただきたいと考えております。

ここで一言福島の復興について触れさせていただきます。福島の復興は経済産業省にとりまして最重要の課題となっております。我々としましては福島浜通りへの企業立地や実用化開発への補助金など手厚い支援策を用意しております。是非皆様におかれましてもこうした支援策を活用する形で福島浜通りへの進出をご検討いただければ幸いです。併せて三陸常磐物につきましては水産業の本格的な復興を目指しているところです。昨年末には魅力発見三陸常磐物ネットワークを立ち上げました。こちらには企業の皆様、自治体、政府関係機関から広くご参加をいただきまして売り手と買い手をつなぐことで情報発信、消費の拡大を進めているところです。すでに多くの企業にご参加いただきまして、例えば社食、お弁当、キッチンカーという形で三陸常磐物を使っただけでなく、或いは企業内マルシェという形で三陸常磐物のイベントを社内で開催していただくといった形で協力の輪が広がっております。是非皆様にもご協力ご参加いただければ幸いです。

今年は兎年であります。こちらでも会長からありましたように株式相場の格言では兎は跳ねる良い年とされています。時刻で言いますと卯の刻は朝の5時から7時ということで日の出のタイミングに当たり

ます。1日が始まるタイミングです。更には慣用句である兎の登り坂という言葉は、得意分野で力を発揮するとか、物事がトントン拍子にうまく進むことを表しています。これだけ揃うと恐らく今年こそコロナ禍を抜け出して明るい日本経済、強い製造業が戻って来る年だと確信しております。我々経済産業省としましても不透明な時代であるからこそ緊密に連携して強い製造業の復活に全力を尽くして参りたいと考えております。

最後になりますけれども本日ご出席の皆様の更なるご発展そして今年1年が素晴らしい年になりますことを祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。」



(ご挨拶される藤本審議官)



(年始会 風景)

第94回理事会の開催

1月11日13時30分から東京プリンスホテル「高砂」にて開催した。

出席理事21名、監事2名に加え、来賓として経済産業省産業機械課から、安田課長、宮下係長がご臨席された。

冒頭、安田課長から、最近の経済動向等の説明を交えたご挨拶があり、その後、政策委員会で議論された2023年度事業計画書及び収支予算書(案)、第

24 回定時総会開催について事務局から説明し、了承を得た。



(理事会 風景)

委員会開催・活動状況報告
(詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
標準化事業  
~~~~~

油圧バルブ分科会

日 時 1 月 18 日(水)、13:30～16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 高野主査以下 10 名(うちリモート:10)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO/SR4400: 定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/SR4401: 定期見直し投票→継続(Confirm)、ISO/SR6264: 定期見直し投票→改訂(Revise)、で投票したとのこと。また、新規投票案件として、ISO/SR16873: 定期見直し、及び ISO/SR10372: 定期見直しの各投票について、各委員で検討することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、10/24 開催(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC5 国際会議の報告があった。

次いで、JISB8664(油圧—減圧弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁—取付面)改正について、対応国際規格(ISO5781)と比較しながら改正作業を行った。

最後に、来年度の活動計画について討議した。現在作業中の JISB8664 改正について、JIS 原案作成公募に申請し審議することとした。

次回開催: 4 月 13 日、機械振興会館+リモート

油空圧シール分科会小委員会

日 時 1 月 23 日(月)、13:00～15:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 南主査以下 8 名(うちリモート:8)
事務局 前畑
議 事

ISO/TC131/SC7/WG10: ISO5119 の DIS 投票のコメント検討について審議した。討議の結果、反対(Disapproval)にて投票することとした。主なコメントは下記のとおり。

- ・この試験は機能試験ではなく材料試験であるため、その旨を適用範囲に明記すべき。

- ・CD 投票のコメントの修正提案について、数値等を示し具体的な規格文章として再提案する。

次回開催: 必要に応じて開催

空圧信頼性分科会

日 時 1 月 24 日(火)、13:30～15:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 妹尾主査以下 5 名(うちリモート:5)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

当分科会が関係する ISO/TC131/WG4 は、5/8 に開催予定とのこと。

次いで、ISO19973-1 附属書 F について、ISO/TC131/WG4 に提出した修正案の説明があった。

最後に、来年度の活動計画について討議した。日本から ISO に提案した ISO19973-1 修正について、ISO 国際会議での審議と対策を進めることとした。

次回開催: 4 月 12 日、機械振興会館+リモート

油空圧シリンダ分科会

日 時 1 月 25 日(水)、13:30～16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 渡部主査以下 6 名(うちリモート:6)
事務局 前畑
議 事

前回議事録の確認後、ISO 投票について、新規投票案件を審議し、ISO/TC131/SC3/N888: ISO/DIS21287 プロジェクト中止賛否投票→賛成、

ISO/TC131/SC3/N889: ISO/TC131/SC3/WG2 コンベナー投票→賛成、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、JIS_B8377-2（シリンダの試験・検査―第2部：油圧シリンダ受渡検査）の改正について、原案の審議を行った。指摘事項を修正の上、規格協会様式調整用資料及びJIS 原案作成委員会（3月予定）審議資料として配布することとした。

次回開催：4月27日、機械振興会館＋リモート

＊ISO 関連情報

・2022年度のISO/TC131及びTC118関連国際会議は、2月以降も幾つかのSC/WGでウェブ会議での開催が予定されている。

・2023年度のISO/TC131関連国際会議は、春季（5/8-12）：ドイツ・フランクフルト、秋季（10/16-20）：アメリカ・ミルウォーキー、にて開催予定。

・今月開催されたISO国際会議は下記の通り。会議の詳細については、別途、報告書を作成・発行します。

1/10：TC131/SC1/WG4：ウェブ会議：日本参加者1

1/16：TC131/SC5/WG5：ウェブ会議：日本参加者2

1/17：TC131/SC8/WG13：ウェブ会議：日本参加者1

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

技術委員会空気圧部会第598回特許分科会

日 時 1月27日（金）13：30～15：15

場 所 Web 会議

出席者 瀧幹事以下4名

事務局 吉田

議 事

はじめに前回議事録及び配付資料の確認を行った。公報の検討と無効理由調査について、1件について調査を終了することとした。3件については引き続き調査を行うこととした。

松本委員から委員交代の予定があるとの報告があった。

次回開催：2月17日（金）Web 会議

~~~~~

#### 広報・PR 事業

~~~~~

第135回編集委員会 WG

日時 1月25日（水）15:00～16:15

場所 機械振興会館 6-65 会議室

出席者 本間副委員長、寺尾主査他7名

事務局 饗庭、大熊

議事

1. 春号/夏号/秋号の進捗状況について

春号はほぼ完了しているが夏号、秋号の記事が不足している。

2. 研究室訪問について

春号は浦井委員、夏号は寺尾委員で進めている。

3. 海外の窓について

秋号以降が未定であったが、多田委員、豊田委員、寺尾主査の申し出があり、来年春号まで決まった。

4. 各グループの提案記事について

防爆規格、電動化問題、センサ特集、協働ロボット等の提案があった。本間副委員長からも2件の提案記事があった。

2月21日（火）に編集委員会を開催する。

~~~~~

今後の主要行事予定

~~~~~

※2023 年

☆3月24日（金）政策委員会

☆4月21日（金）理事会・懇親会

☆5月18日（木）定時総会・懇親会

☆5月19日（金）JFPA ゴルフ懇親会

~~~~~

1月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。（敬称略）

~~~~~

（標準化事業）

油圧バルブ分科会

開催日 1月18日（水）

出席者

主 査 高野一治（油研工業）

委 員 伊藤達夫（カヤバ）

〃 富永健一（川崎重工業）

〃 成田昌史

（ジェイテクトフルードパワーシステム）

〃 瀬川均（ダイキン工業）

〃 安永和敏（東京計器）

〃 小林正幸（ナブテスコ）

〃 八上光春（廣瀬バルブ工業）

〃 浦井隆宏（ボッシュ・レックスロス）
〃 小林義伸（日立建機）

油空圧シール分科会小委員会

開催日 1月23日(月)

出席者

主 査 南暢（バルカー）

委 員 安西祐二（阪上製作所）

〃 奥田智昭（三菱電線工業）

〃 但木郁夫（荒井製作所）

〃 寺島剛資（エア・ウォーター・マッハ）

〃 宗岡祥平（NOK）

〃 宮本博夫（NOK）

〃 高牟礼辰雄（J F P A）

空圧信頼性分科会

開催日 1月24日(水)

出席者

主 査 妹尾満（SMC）

委 員 伊藤圭祐（CKD）

〃 水野義宣（T A I Y O）

〃 中曽根祐司（東京理科大学名誉教授）

〃 眞田一志（横浜国立大学）

油空圧シリンダ分科会

開催日 1月25日(水)

出席者

主 査 渡部文雄（日本シリンダ共同事業）

委 員 赤松直人（甲南電機）

〃 塩田浩司（コガネイ）

〃 東川智信（T A I Y O）

特別参加 伊藤輝（日本規格協会）

ISO/TC131/SC1/WG4 国際会議

開催日 1月10日(火)

出席者

委 員 町田哲治（東京計器）

ISO/TC131/SC5/WG5 国際会議

開催日 1月16日(月)

出席者

委 員 小田敏裕（甲南電機）

〃 土岐真人（コガネイ）

ISO/TC131/SC8/WG13 国際会議

開催日 1月17日(火)

出席者

委 員 浦井隆宏（ボッシュ・レックスロス）

（技術調査事業）

技術委員会空気圧部会

第598回特許分科会

開催日 1月27日(金)

出席者

幹 事 瀧 芳久（CKD）

委 員 井野雅康（SMC）

〃 安田善仁（甲南電機）

〃 松本啓佑（コガネイ）

（広報・PR事業）

第135回編集委員会WG

開催日 1月25日(水)

出席者

副委員長 本間伸一（SMC）

主査 寺尾 剛（カヤバ）

委員 松川正克（阪上製作所）

〃 安永和敏（東京計器）

〃 吉田将暉（油研工業）

〃 浦井隆宏（ボッシュ・レックスロス）※

〃 小辻一雄（コガネイ）※

〃 多田昌弘（CKD）※

〃 豊田敏久（川崎重工業）※

※印はWeb出席者

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<1月>

18日(水)

・標準化(委)油圧バルブ分科会

23日(月)

・標準化(委)空気圧シール分科会小委員会

24日(火)

・標準化(委)空気圧信頼性分科会

25日(水)

・標準化(委)油空圧シリンダ分科会

・編集(委)第135回編集委員会WG

27日(金)

・技術(委)空気圧部会第598回特許分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>
